

日野都市計画事業万願寺第二土地区画整理審議会

第38回審議会議事録

1. 召集通知の日 令和4年6月17日(金)
2. 開催の日 令和4年6月28日(火)
3. 開催場所 万願寺第二・東町まちづくり事務所
4. 審議会委員の数 9名
 - 内訳 ・所有権者 6名
 - ・借地権者 1名
 - ・学識経験者 2名
5. 出席者数 21名
 - 内訳 ・審議会委員 出席8名
藤和通信工業(株)佐藤外次
田中基行
小泉一夫
金子勉
落合正久
川島大介
原田龍次
深井祐紘
 - ・審議会委員 欠席1名
総合サーキット(株)田中康一
 - ・日野市 8名
まちづくり部長 岡田 正和
区画整理課長 井上 泰芳
区画整理課主幹 岡崎 健次
区画整理課長補佐 福寫 由紀宏
区画整理課長補佐 大野 高宏
区画整理課長補佐 竹石 幸司
区画整理課長補佐 山本 修平
換地係主任 矢光 亜紀子
 - ・都市づくり公社 5名
日野区画整理事務所長 若月 純子
換地課長 萩田 清光
移転工事課長 宮川 雄一
換地係長 川嶋 輝之
換地係主事 伊藤 理子

6. 会議の目的たる事項

- ・会長の選挙について (議案第1号)
- ・会長代理の選出について (議案第2号)
- ・委員の議席の決定について (議案第3号)
- ・評価員の選任について (諮問第66号)
- ・その他

7. 傍聴人 0名

<午後2時00分>

福 寛 : 今回の審議会は改選後初めての審議会のため、会長が決まるまで事務局で議事の進行を行う旨を伝えた。まちづくり部長と日野市の区画整理事業を委託している公益財団法人東京都都市づくり公社が説明補助者として審議会に同席している旨を説明し日野区画整理事務所長に、それぞれに挨拶を促した。

岡 田 : 今年度最初の審議会で、議題として会長選出、諮問評価員選出を行うこと、令和4年度は3億5千4百万円の予算措置、財政状況の説明をした。
区画整理課の人事異動に伴う職員の紹介をした。

若 月 : 引き続き事業推進に努めると挨拶をした。
人事異動に伴う職員の紹介をした。

福 寛 : 審議会委員に、議席が決まっていないため、選挙の申込順で、座っていただいている旨を説明し、挨拶を促した。

出席審議会委員：自己紹介をした。

[審議会開会]

<午後2時10分>

福 寛 : 第38回日野都市計画事業万願寺第二土地区画整理審議会の開会を宣言した。
本日の議事の進め方については、次第に基づき進める旨を説明した。万願寺第二土地区画整理審議会委員の定数は10人となっているが、選挙の結果、第7期の審議会委員は9人になったことを報告した。
また、総合サーキット(株)田中康一委員1名の欠席について報告し、8名の審議会委員が出席しているので、土地区画整理法第62条第3項の規定に基づき、審議

会は成立したことを告げた。

配布資料の確認と本日開催の主旨について説明する旨を伝えた。

竹石 : 配布資料の確認と本日の議案と諮問、令和4年度予算の説明をすることを伝えた。

福寫 : 審議会の権限について説明した。

福寫 : これより審議会の議案について審議に入るが、会長が決定されていないので、会長が決定されるまでの間、議長の選出をしていただくことになる。今までの慣例では、審議会で議長の選出を行なった方法は、委員の中から最年長の方に、会長が決まるまでの間、議長をお願いしていると説明し、今回の審議会での選出方法について、委員に意見を求めた。もし意見が無いようならば、事務局に一任していただき、最年長の委員の方に議長をお願いしたいと考えているがいかがかと意見を求めた。

— 異議なし —

福寫 : 異議がなかったため、審議会の最年長の委員は、小泉一夫委員であると告げ、議長就任をお願いした。

— 議長席へ小泉委員が移動 —

福寫 : 小泉一夫委員へ議長就任の挨拶を促した。

議長 : 就任の挨拶をするとともに、議案第1号「会長の選挙について」を議題にする旨を告げ、議案文の朗読及び説明を事務局に指示した。

矢光 : 議案第1号を朗読した。

福寫 : 土地区画整理法第61条第2項の規定に基づき、審議会は会長を置くことになっており、会長は、委員の中から委員が選挙することになっていると説明した。参考に、他の地区では、委員から推薦された委員が、審議会の賛同を得て、選挙に替えている。今回の会長選挙について、どのような方法がいいか、委員に意見を求めた。

議長 : 今回の会長選挙については、どのような方法で行なうのがよろしいか、委員に意見を求めた。

■ : 会長に田中基行委員を推薦する。

議長 : ■■■委員から田中基行委員を会長に推薦がありました、他にございませんか。
田中基行委員を会長でよろしいでしょうか。

－異議なし－

議長 : 審議会委員の賛同を得て、会長が田中基行委員に決定したことを告げ、ご協力
いただき、議長を無事に務めることができたことと挨拶をした。

福嶋 : 議長の小泉委員に謝辞を述べ、田中基行委員が会長に決まったので、席の交代
を促した。

－議長と会長の席の交代－

福嶋 : 会長になられた田中委員に挨拶を促した。

会長 : 会長就任の挨拶をするとともに、議案第2号「会長代理の選出について」を議題
にする旨を告げ、議案文の朗読を事務局に指示した。

矢光 : 議案第2号を朗読した。

会長 : 議案第2号「会長代理の選出について」についての説明を、事務局に指示した。

福嶋 : 会長代理の選出については、土地区画整理法第61条第5項の規定に基づき、会
長に事故がある場合において、委員のうちからあらかじめ互選された委員が会長
の職務を代理すると説明をした。
今回の会長代理の選出について、どのような方法で行なうのがよいか、委員に意
見を求めた。

会長 : 会長代理の選出について、委員に意見を求めた。

■■■ : 会長一任でお願いします。

会長 : 会長一任というご意見が出たので、会長代理を金子委員にお願いします。

会長代理 : 会長代理就任の挨拶をした。

会長 : 議案第3号「委員の議席の決定について」を議題にする旨を告げ、議案文の朗読
を事務局に指示した。

矢光 : 議案第3号を朗読した。

会長：議案第3号「委員の議席の決定について」についての説明を、事務局に指示した。

福 寛：審議会議事運営規則第5条の規定に基づき、最初の会議において、抽選により議席を決めることになっている。職員が抽選棒をお持ちするので、佐藤委員から時計回りで抽選をし、会長の抽選については最後に行う。尚、本日は綜合サーキット(株)の田中委員が欠席なので、会長抽選の前に、田中委員の抽選を行うと説明した。

【議席の抽選】○抽選順序：時計回り（会長が最後）

○抽選棒持ち回り読み上げ：大野課長補佐

○表記入：岡崎主幹

福 寛：抽選の結果、以下のとおり議席が決定したことを発表した。

【議席番号】

①田中基行 ②綜合サーキット(株) ③小泉一夫 ④落合正久 ⑤深井祐紘

⑥川島大介 ⑦金子勉 ⑧原田龍次 ⑨藤和通信工業(株)

会長：今回決定をした議席は、次回の審議会の会合からとし、本日は座っている席にて会合を進めると説明し、また会長の席は、次回からもこの席とさせていただくと告げた。

議席番号が決定したので、議事運営規則第13条3項の規定により、本日の議事録署名委員に小泉委員と落合委員を指名した。

議事録の書記を事務局の福寛課長補佐と矢光主任とした。

会長：諮問第66号「評価員の選任について」を議題にする旨を告げ、諮問文の朗読及び説明を事務局に指示した。

矢 光：諮問第66号を朗読した。

山 本：評価員の選任についての説明を行った。

会長：審議会委員に質問及び意見を求めた。

． ー意見なしー

会長：採決を行った。諮問第66号「評価員の選任について」は原案のとおりで良いか諮った。

ー意義なしー

会長：異議なしということで諮問第66号は原案とおり決定した。

会長 : 令和4年度予算についての説明を事務局に指示した。

竹石 : 令和4年度予算についての説明をした。

市施行4地区全体の区画整理事業費22億3百万円、前年より8千9百万円の減。公社立替金を含むと前年比3億8千4百万円マイナス、14.9%減となり、市の厳しい財政状況が反映された予算となっている。その内、万願寺第二地区の予算は3億5千4百万円、前年度比2億1千2百万円のプラス、149.9%増となっている。

予算編成の方針として、12項目の指標に合うものを選び、令和4年度から財政再建期間中でも進めていく事業を厳選して予算編成をしている。

個別の状況により実施すべきと判断される事業として、中断経費の削減効果が高いもの、国、都など公共関連事業との連携が必要なもの、売却が見込める大画地又は複数画地の保留地の創出などを選んだ。

万願寺第二地区は令和4年度の事業として中断経費の解消の効果が高い事業を行うと説明した。

また、令和4年度末の事業進捗率が60.9%となることを説明した。

会長 : 審議会委員に質問及び意見を求めた。

■ : 現在の執行率と完成予定時期について質問した。

竹石 : 執行率は令和3年度末で約60%である。事業計画の事業期間が令和5年度までとなっており、残事業を整理し、しっかりした事業期間を出すよう国と東京都から指示を受け、その作業をしていると述べた。

井上 : 区画整理は保留地処分金、国都の補助金、市の一般会計から区画整理特別会計への繰入金で行っているが、その繰入金の目途が立っていない状況となっているが、秋までに策定予定の財政再建計画ができれば一般会計からの資金が見込めるので、今後の事業展開の整理ができると述べた。

■ : 分かりました。

会長 : ほかに意見がないことを確認して、審議会の閉会を宣言した。

[審議会閉会]

<午後2時53分>

この議事録は、書記が記載したものであるが、その内容が正確であることを認めここに署名押印します。

令和 4 年 8 月 3 日

会 長

田中基行



署名委員

小泉一夫



署名委員

落合正久

